

令和7年度 玉野市立日比中学校 学校経営方針

学校教育目標

『自立貢献』 ～夢をもち 自分で考え 判断し 行動できる生徒の育成～

指導の重点

○「生きる力」の育成 ○「豊かな心」の育成 ○「たくましい心と体」の育成

めざす 学校像

- 生徒、保護者、地域から信頼される学校
- 「笑顔」と「ありがとう」があふれる学校
- 生徒の夢や希望、生きる力を育む学校
- 生徒、保護者、地域、教職員が誇りとする学校
- 「生徒が明日も行きたい」、「保護者が行かせたい」、「教職員が働きたい」、「地域が応援したい」と思える学校

めざす 子ども像

- 夢や希望を探求し、生き活きと学ぶ生徒
- 学ぶことの意義を考え、主体的に学習に取り組む生徒
- 自分で考え、判断し、行動できる生徒
- 豊かな感性と人権感覚をもつ生徒(行動目標)
- 仲間や家族、地域に貢献できる生徒
- 心身ともに健やかで、ねばり強く取り組む生徒

めざす 教職員像

- 生徒、保護者、地域、同僚から信頼される教職員
- 自ら夢や希望を探求するとともに、夢や希望を生徒に語る教職員
- ひとりひとりの生徒に教育の情熱をもってかかわり、共に成長する教職員
- 「めざす生徒像」の実現に向けて、自己研鑽するとともに、仲間と協働する教職員
- 自分の個性を大切にしながら、仕事とプライベートを両立させて、生き活きと働く教職員

学校教育目標の実現に向けて、すべての教育活動に「キャリア教育」の視点を取り入れ、ひとりひとりの生徒の「自立貢献」のために必要な基盤となる学力と心と身体を育成する。

- 【知】わかる授業の実現とともに、生徒の学ぶ意欲の向上と主体的・対話的で深い学びの実現。
- 【徳】自分と向き合うとともに、他者を尊重し、仲間や家族、地域のために貢献できる生徒の育成。
- 【体】自分の心身を見つめ、進んで心身を鍛え、粘り強くしなやかに取り組む生徒の育成。

1. 「生きる力」の育成

- キャリア教育を推進し、生徒自らが学ぶ意義を考え、主体的・対話的に学習に取り組む教育活動を充実させる。
- 特別支援教育の視点に立ち、すべての生徒が生き活きと学ぶ授業を充実させる。
- 生徒に学ぶ喜びを実感させるとともに、自分自身をコントロールしながら学び続ける習慣を育成する。
- 「めざす生徒像」の実現に向けて、全教職員の共通認識を図り、一貫した教育活動を推進する。
- 小中連携を推進し、9年間を通した教育活動を充実させる。

2. 「豊かな心」の育成

- 教育活動全体を通して、自他の命と心を大切にしている教育活動を充実させる。
- 自己肯定感・有用感を味わえる教育活動を充実させる。
- 自他を尊重する集団づくり、道徳教育、人権教育を充実させる。
- ひとりひとりを大切にしている特別支援教育を推進し、生徒の心に寄り添った生徒指導、教育相談を充実させる。
- いろいろな人の生き方に触れ、自分の生き方を見つめる体験的な学習を充実させる。
- 清掃活動やボランティア活動を充実させる。

3. 「たくましい心と体」の育成

- 自分自身をコントロールする基本的な生活習慣を確立させる。
- 自他の命と心を大切にしている健康・安全教育を充実させる。
- 生徒が主体的に取り組む生徒会活動、部活動を充実させる。
- 体育的行事や部活動等を通して、身体を鍛えるとともに、粘り強くしなやかな心を育成する。
- ひとりひとりの生徒に寄り添うとともに、SCやSSW、関係機関と連携しながら広い視野をもった生徒指導・教育相談を充実させる。

4. 「信頼される学校」づくり

- 丁寧な生徒指導や保護者、地域、関係機関との連携。
- 中学校区校園、近隣中学校、高校との連携。
- 定期的多情報発信(参観日、懇談、HP・メール、通信)

行動目標

- 時を守り
- 一時間に対するけじめをつける
- 二学級の時間を大切にしている
- 場を清め
- 一掃除を大切にしている
- 二授業での空気づくりを大切にしている
- 三きちんとした行動の実践化のため、
- まず足もとから
- 礼を正す
- 一あいさつ・返事・姿勢を大切にしている
- 二言葉遣いを正す
- 三思いやりの心を発揮する